

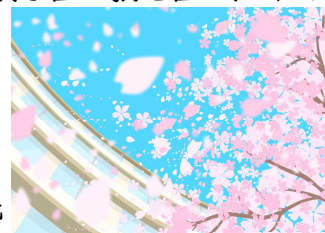
令和6年度 青潮小学校 学校経営方針として

令和6年4月1日 校長 三角浩司

新青潮2年目(62年目)にいい勢いをつけていきましょう!

還暦を超えての新しい学校づくりの2年目です。新青潮のよい風土づくりを勢いにのせていきましょう。大きな異動があったからこそ、自分の役割を越えて声を掛け合い 訊き合い 教え合い、これからのためにみんなで一丸「チーム青潮」となって頑張っていきましょう。

皆さんのお力をお貸しください。よろしくお願いいたします。



I 青森県や八戸市の学校教育指導の方針を受けて

夢や志の実現に向けて、家庭・地域と連携・協働しながら、命最優先の「いのちの教育」を基底に、「生きる力」を育む学校教育の充実に努めましょう。

II 青潮小学校の教育目標・努力目標



< 教育目標 >	たくましく 心美しく	< 創立62周年 >
< 努力目標 >	考えて行動しよう しっかり学ぼう	毎日運動しよう

校章の「桜の蕾と花びら」に込められた、子どもたちへの「たくましく 心美しくあれ」の願いを継承し、「生生発展」する未来・夢に向かって、「よく考えて行動し、しっかり学び、よく運動に励む」子どもたちを育てていきましょう。

III 経営方針

(1) 基本理念

子どものために — チーム 青潮 —

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子ども」の育成を図り、「一人一人の夢の実現を目指し、お互いのことを考え(思いやり)居場所のある、笑顔いっぱいの学校」のために、家庭・地域と連携・協働し、教職員がチームとなって取り組んでいきましょう。

(2) 目指す学校像

「笑顔いっぱいの青潮小」

子どもたち・保護者・地域・教職員が笑顔いっぱいになるために

- ①子どもの笑顔…子どもたちにとって安全安心で、居場所のある学校
学ぶ楽しさ、一生懸命に取り組む楽しさのある学校
- ②保護者の笑顔…信頼関係を大事に、一緒になって子どもを育てる学校
- ③地域の笑顔…情報を共有し、子育てのパートナーとして協働する学校
- ④教職員の笑顔…子どものために力を合わせて取り組み、やりがいのある学校
をつくっていきましょう。

(3) 目指す児童像

「さくらの心」で頑張る子

青潮小学校のシンボルツリーは桜。子どもたちが「言われて嬉しい言葉」を桜の花びらに見立てて、「桜の言葉」いっぱいにしていこうと始まった「さくら運動」。育てたい子どもたちの姿と「桜の言葉」を関連付けて、「桜の心」として、校歌にあるように「桜の花をしるしとし」取り組んでいきましょう。

①思いやる心・礼儀

進んで挨拶・返事ができる子
相手のことを思いやる(考える)子
※挨拶運動、心のお花畑など

②感謝の心・認め合う心

よさを見つけ認め合う子
進んではたらく子 感謝できる子
※心のお花畑、なかよし班活動、縦割り清掃など

③あきらめないで学び続ける心

進んで学ぶ子 粘り強く学び続ける子
※読書活動、漢字計算テスト、自学、校内研修など

④高め合う心

自分から進んで運動する子 あきらめず頑張り抜く子
※パワーアップタイム、外遊び、3分走など

⑤素直な心

周りのことを考え、約束事をまもる子 素直に謝れる子
※決まり・約束事の徹底、立腰、道德重点など



(4) 目指す教職員像

「信頼を大事に、一丸となって取り組む教職員」

- ①子どもとふれあい、子ども理解に努め、子どもや保護者から信頼される教職員
※一人の人間として尊重しあい、声や思いを受け止め、真意の伝わる言葉と行動
※変化に気づき、情報共有・丁寧・親身・笑顔を大事に
- ②人間性豊かに「師弟同行」できる教職員
※子どもと一緒に汗を流し、一緒に学び楽しみ、よさを見つけ認め合う
- ③訊き合い、教え合い、励まし合う教職員
※一人一人の経験やよさを生かし、学級・学年や分掌をこえて助け合う
※一人で抱え込まずに相談し、声を掛け合い助け合う
- ④子どものために一丸となって取り組む教職員
※「全教職員が全児童の担任」の意識で同一方向に共通実践で
※軸足を「子ども」において、粘り強く根負けせずに

(5) 学校目標(案)

「よく考えて取り組む子どもの育成」

- ①あきらめずに考える子(思考力・判断力の向上)「やってみよう」
みんなで思考・判断力向上の工夫を!
- ②学校の外でも、ルールを守って行動できる子(規範意識の向上)「ごめんなさい」「はい」
学校(ひとつの社会)で学んだことを活用する力の定着を!
- ③他の人のことを考える(思いやりのある)子「いいね・ありがとう」
お互いを認め合う心の育成を!



いろいろチャレンジして、成功も失敗も共有し
私たちも高め合いながら、子どもたちの力にしていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。